

令和3年4月4日（日）

全国知事会 新型コロナウイルス緊急対策本部（第19回）における丸山知事
発言（要旨）

1. 飲食業の支援について

飯泉会長からも冒頭発言があったとおり、感染拡大区域以外で影響が生じている。

とりわけ、重点的な対応がとられた飲食業への影響が非常に大きいため、この点に関して、特別枠の創設、また早急な予備費の執行を含めた迅速な対応について、是非とも働きかけをお願いしたい。

2. 政府広報について

（緊急提言の）一番冒頭のテレビCM、政府広報について、私が認識する限りでは正確ではない広報もなされている。

感染の拡大状況や対象地域によって、広報の内容は違うはずなので、全国で同じ内容を流すというのが適当なのかどうか。

ローカル局、ローカル枠での実施といったことも含めて、もっと丁寧にやっていただくことが必要である。

3. 変異株に感染した患者の退院基準について

（緊急提言の内容と）全く反対の立場であるが、変異株関係の退院基準について、（判断の根拠となる）PCR検査が完璧ではないということにもエビデンスがある。

3割程度の偽陰性が出るものであるため、2回実施するというのが理想的だと考えており、病床ひっ迫の懸念からこの基準を緩めるといった必要がある地域は、やむを得ずそうすることもあるという、対応にすべきだと考える。

最初から、PCR検査の2回連続実施をあきらめる必要はない。感染状況によって病床のひっ迫状況も違うため、この点については（提言内容を）修正を検討いただきたい。